

特別支援学校食育全体計画（高等部 I 類型）

徳島県立ひのみね支援学校（高等部）

生徒の実態
在籍生徒は肢体不自由があり、日々、身体機能の維持及び向上を目指した学習や自己の将来の生き方や進路について必要な基礎学力を身につけるための学習に取り組んでいる。摂食に関してはセンター生は主に病棟で指導を受けている。

学校教育目標
「徳島県教育振興計画」に基づき、児童生徒一人一人の個性と人権を尊重し、自立と社会参加の促進に向けて、自己実現に努める心豊かな人間を育成する。

めざす生徒像
食べ物やその生産者、調理者に対して感謝の気持ちを持ち、安全で健康的な食生活を実践する。

食育における健康教育目標
生涯にわたり、健康な生活を送るために、基本的生活習慣を身に付け、自分の心や体の成長に合わせた、正しい食生活を実践する態度を育成する。

校内食育推進体制
○食育リーダー
・保健主事
○食育推進委員会
・校長
・教頭
・学部主事
・保健主事
・養護教諭
・学校栄養職員

食育の指導目標

- バランスのとれた食事の知識と選ぶ力を身につける。
- 基本的な食習慣を実践する基本的な調理技術を身につける。
- 食品の栄養表示や食品添加物の表示等を知り、適切に食品を選択できる。
- 生活習慣病と食事、運動の関係についての知識と関心を持つ。
- 家族や友人など周りの人と関わりを持ちながら楽しく食べる。
- 地域の食材を利用し、旬の味を楽しむ。

保護者・地域の実態
生徒は隣接するひのみね総合療育センターに入所している。センター及び保護者と連携を図りながら教育活動を行っている。

発達段階に応じた食育の到達目標

- ・食のみだれによる弊害を知る。
- ・正しい食事のとり方を知り、実践しようとする。
- ・食物に対して感謝の気持ちを持つ。

家庭・地域との連携体制

- ・学校給食委員会
- ・学校保健委員会
- ・PTA 体育厚生委員会

教科別の指導	理科	(生命活動とエネルギー) ・生命活動とエネルギーについて知り、健康の保持に必要な栄養を考えている様々な食品を摂取する習慣を身につける。 ・食中毒や食品添加物について知り、安全に食物を摂取する態度を身につける。			
	職業	(農耕作業) 夏野菜の栽培実習 ・栽培課程(種まき、草取り、水やり、収穫等)を理解し、生産する等の目的意識を持って主体的に農作業を行う。 ・農作業用器具(鍬、スコップ、鎌等)の使い方を知り、安全に留意しながら農作業を進める。 ・収穫することの喜びを感じ、食べることから感謝の気持ちを持つ。			
	地理歴史	(人間と自然環境) ・食糧生産の歴史を通して、現代における食糧事情の地域格差などの現状を知り、自分の生活を振り返る。			
	保健体育	(生活習慣病と日常生活行動) ・食事・運動・休養及び睡眠といった生活習慣が健康と深く関わっていることについて考える。 ・食べることの意義(栄養・コミュニケーション・楽しみ等)について意見を交換し合う。			
	家庭	(食生活の自立と調理) ・旬の食材や地場産物を使い、栄養バランスを考えて日常食の調理をする。 ・食品の選択と取り扱い、衛生と安全について正しい知識と判断力を身につける。			
領域別の特別指導	自立活動	(生活自立をめざした取り組み) 調理体験 ・ご飯の炊き方を知る。また、炊く実習を行う。 ・おかず(みそ汁、炒め物)の作り方を学ぶ。また、炒め物を作る。 ・調理器具(まな板、包丁、ガスコンロ、炊飯器)の使い方を学び、実際に調理の仕方を学ぶ。			
	ホームルーム活動	4・5・6月	7・8・9月	10・11・12月	1・2・3月
		学校行事	入学式 始業式 健康診断 修学旅行		体育祭 文化祭
地場産物の活用等	キャベツ ニンジン びわ ジャガイモ ネギ タケノコ わかめ	キャベツ ピーマン すだち 梨 ブドウ ゴーヤ トマト キュウリ ナス オクラ 枝豆	ダイコン サツマイモ レンコン 小松菜	ほうれんそう みかん ゆず ブロッコリー	
給食行事	行事食(こどもの日、七夕、クリスマス、節分、ひなまつりなど)				
PTA 行事					
個別指導	・肥満傾向の生徒への指導 ・安全な飲食指導のための研修や情報収集 ・個々に合わせた食事指導 ・アレルギー調査→個別相談(個別状況についての共通理解) など				
家庭・地域との連携	・食育だより年3回(保護者用)発行・学校保健委員会 ・栄養個別指導(肥満等) ・地元の農家等との連携(地産地消) ・旬の食材の使用				

